



わたしたちが正しい場所に
花はぜったい咲かない。

春になっても。

わたしたちが正しい場所は
踏みかためられて硬い。

内庭みたいに。

でも、疑問と愛は
世界を掘り起こす。

もぐらのように、
鋤のように。

そしてささやき声がきこえる。

廃墟となった家がかつてたっていた場所に。

In the place where we are right
The flower never blooms.
Even if it is spring · ·

The place where we are right
I step and am hardened and am obstinate.
Like an inner court · ·

But a question and the love
I dig up the world.
Like a mole like a plow.
And I hear a whisper . . .

In the place where the house which became
the ruins has ever stood . . .

—Yehuda Amichai—

.

喪失の朝、
脆弱なPlana . . .

心許無さ映し出す、
落胆のfalse · dawn（偽りの夜明け）。

ジリジリと照り返すアスファルト熱が、
もうじき体の芯まで焼け尽くす。

負の引力を引き摺りながら、
磨耗を歩く。

告知された死を少しずつ駆け上がるように
同化してゆくbackground。

namelessな剰余価値。
borderlessな空洞化。

reificationという名の試金石。

Where will we go to with the help of what ?
(僕等は何を頼りに何処へ向かっているのだろう・・・?)

片翼飛行のメタ認知。

握るものは反古になったpaper・asset。

守りたいもの、
この手の平から一滴残らず零れ落ちてゆきそう。

無力な不甲斐無さ、のしかかる。

どうか受け止めて。

明日という意味を示す為に。

符号は暗転、

下落のhabit。
上昇するnovelty。

scratch・noiseのような
fractal・wave。

記憶の底から突き上げてくるものは、

押し寄せるPororoocaに吞まれて
溶けて消えるbubbleの唄。

巡り巡る。

笑止の果てまで . . .

虚妄の碧。

蹂躪のarchは開かれた。

an unmarked trap · door . . .

(印の無いトラップドア)

右往左往、inexact · geometry . . .

(不正確なジオメトリー)

合言葉は”Avanty”。

A state of emergency of the

long silence is taking place . . .

(無音の非常事態が起きている)

The shrinker that I merely gain awe . . .

(僕はただ怖気付くシュリンカー)

重要なdecodeはprotectされている。

低迷なClosed · periodで、

突然変異なdeadlock。

bearishな未来投資は、

流動性Zyanose。

”汝ら蒔くごとし刈り取らん”

暴走するconspiracyは、

瞬間風速のvolatility。

ユーモアセンスに欠けた
cloud社会の、

loopy思考なUbiquitous。

infraは俯瞰主義、

不正なjustice。

B/Sは捏造Crunch。

Peering・pointに伸びる魔の手、

”真実は語らない”humintは、
狼少年ではなかった

Kassandraの報い？

lowspecなfilteringでは、

抜け穴だらけのmislead。
頽落するdas・schicksal。

propagandaは、

anti・doctrineの
libertarianism。

失われた革命は刻まれたcrimson。

scirrhous性の仮想工程。
便宜主義な付和雷同。

initiativeは
human・error。

世界中で飛び火するdefault地獄、

アリとキリギリスのunfairなdouble・standardは、
稚拙でcaricatureなconcept。

首吊りのbottom・outは、
余波の甘受で無理心中。

Pandemoniumticなsame・boatは、

杓子定規な内憂外患。
riskのoverflowで干上る地上。

色即是空な万有引力。

バラマキ-dilutionで、
syntheticな金融工作、

仕掛けられたcurrency・wars。
面従腹背な、give・and・take。

汝の隣人は愛せない、
”目には目を、歯には歯を”の、

彼我のdilemma、trilemma。

咲き競う、姿態変換なinter・action。

chemical・artは、
Galapagosな
Robust・design。

現は一夜成金一夜乞食の狂気なpassion、
悲観と懐疑のmanadologie。

濫觴軽んずるなかれ、

砂長じて巖となるunderstanding、

幾星霜を経て

往時の想からの粒々辛苦。

掘り起こすchronicle。

soulfulなbrushupで、因襲の桎梏を解き放とう。

今はただ、窮地を脱する

drasticな調整process。

美しきexploitierenで、

plus・sumな貿易を・・・

zero・baseな時間軸効果で、

華麗なるsynergy、

偉大なるevidenceを・・・

空前絶後の分水嶺は、

浮き世の掟の霧が関の能史。

不等号を傍流するContrarianが先駆する。

metaphysicalなattractor。

sharingな

最短leverageで、

above the law・・・（法律を越えて）

求める“騰籠換鳥”、

仰げば永久に、

尽きぬanxiolytic・・・

咲き誇れよ、互恵の花、
塞がれた僕等のamazing・story　・ ・